



第1号

発行：平成26年12月

瑞浪市消防団

編集：女性消防団員

第1号発刊に寄せて



瑞浪市長 水野 光二

今年度、伝統ある瑞浪市消防団に女性団員8名が入団され、新たな風が吹き込まれました。皆さんには災害時の後方支援をはじめ、火災予防広報活動や応急手当の普及など、女性の持つ、ソフトな面を活かして活躍されることを期待しています。



瑞浪市消防団長 大島 忠和

今年度、入団された女性消防団員の活動のスタートとして、「消防団新聞」が発刊されましたこと、大変うれしく思います。この新聞を通して、地域の安全・安心に貢献する消防団員の素晴らしい姿や団員の思いを、多くの市民の皆さんに知っていただければ幸いです。

第1分団第2部 県大会3位!



8月3日(日)、「消防感謝祭」第63回岐阜県消防操法大会が大野郡白川村の白川村防災グラウンドで開催され、瑞浪市からは6月に行われた市消防操法大会で優勝した第1分団第2部のメンバーが代表として出場し、所要タイム40秒93で第3位となり、優秀賞を獲得しました。



▼根岸孝之(指揮者)

長期間に渡り、団本部、分団本部、第1分団および他分団、そして消防署の皆さんにご指導、ご声援を賜りましたことに感謝します。

▼安藤紀之(1番員)

皆さんのご協力とご声援のおかげで結果を出すことができました。仲間の大切さを実感した忘れられない夏でした。

▼南波孝彰(2番員)

大会当日は訓練の成果を存分に発揮でき、周りのサポートに感謝します。

▼伊藤允一(3番員)

皆さんの支えがあったからこそ、辛い訓練を乗り越え、良い結果が得られたと感じております。

▼小川泰佑(補助員)

ご協力いただいた団員の皆さん、ご家庭やお仕事で忙しい中、お手伝いいただき本当にありがとうございます。

平成 26 年 4 月、瑞浪市消防団に新たに 8 名の女性消防団員が誕生しました。

私たち女性消防団員は団本部に所属し、火災予防啓発、応急手当の普及活動をはじめ、災害時の後方支援などの活動を行います。東日本大震災発生時に課題となったように、女性特有の問題が発生した場合、女性でないと対応できないケースもあります。そういった場合に、日頃、訓練を積んだ女性消防団員として、活躍していけたらと思っています。

川本 ゆかり



女性ならではの消防団活動が出来れば…微力ながら地域貢献に尽力したいと思います。

西尾 恵美子



瑞浪で育つたので、今後は瑞浪に何か恩返しができるばと思ひ、入団しました。よろしくお願ひいたします。

鈴木 圭子



楽しい仲間と共に、成長しあい、瑞浪のために務めます。よろしくお願ひします。

石井 眞希



行事や操法のキビキビした動きがカッコ良く感動しました。楽しい仲間と一緒に頑張ります。

～私たちが女性消防団員です～

白木 明子



3人の息子たちが将来消防団に入りたい!と思えるよう、消防団活動に積極的に参加します。よろしくお願ひします。

小木曾 嘉奈子



チャレンジ精神を持って消防団活動を楽しみ、自分出来る事を精一杯頑張ります☆よろしくお願ひします!

伊藤 泰子



自分の生まれ育つた瑞浪が大好きです。その瑞浪の安全安心に少しでも貢献できるよう精一杯頑張ります。

大山 侑希



大好きな瑞浪に少しでも貢献し、女性消防団をより多くの人に興味を持ってもらえよう頑張ります☆

第 3 回瑞浪市消防団独身団員との交流会を開催しました

10 月 18 日(土)、市内全域の独身消防団員 20 人と一般公募の女性 18 人との交流会が開催されました。

この日は土岐グランドボウルでボウリングをした後、ペンションパサージュ(日吉町)に移動して、バーベキューを楽しみました。

普段、真剣な表情で訓練などに従事する団員たちもこの日ばかりは女性の前では表情を崩しがち。最後は、カードに意中の異性の名前を記入して、見事 6 組のカップルが誕生しました。

なお、この交流会は平成 27 年度も開催する予定です。ご期待ください!



消防団員の皆さんへ

地域防災力の要である消防団を、地域を挙げて応援し、団員のモチベーション維持向上のため、「ありがとね!消防団水防団応援事業所制度」が 8 月 1 日よりスタートしました。

この制度は飲食店や家電量販店などの応援事業所(登録店)で下記のカードを提示することにより、割引や特典が受けられる制度です。

10 月 15 日現在、応援事業所は県内で 850 件、市内では 16 件の登録があります。

団員の皆さん、ご活用ください。

